



令和4年度 本校のセンター的機能について

本校のセンター的機能の活用について、今年度もコロナ禍の影響を受ける中での相談支援業務が厳しい状況でしたが、感染症対策のもと、実施可能な方法を工夫し、センター的機能の発揮に努めてまいりました。

次の通り、令和4年度のセンター的機能発揮状況を報告させていただきます。次年度も本校の相談・支援活動への一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。

①教育相談

教育相談件数 188件(就学児 21件 小学校 33件 中学校 6件 高等学校 0件
保護者 64件 福祉・医療・教育委員会 35件 特別支援学校 29件)

就学や中学校進学に関する幼児・児童・保護者からの相談・見学・体験授業が多く、県外在住の保護者より転校を見越した学校見学や相談もありました。

②訪問支援

今年度、小学校や中学校に訪問支援をした内容については以下の通りです。

【小学校の場合】

- ・コロナ禍で実施できなかったプールの授業が今年度3年ぶりの実施となり、水泳の指導方法について質問をいただきました。外部専門家(PT)が授業場面に同行して様子を見せていただく中で、プールサイドでの移動から入水後まで今後の具体的な介助方法や活動内容などについてアドバイスをお伝えしました。
- ・新年度に肢体不自由特別支援学級を新設する小学校より、児童を受け入れるための環境整備などについての相談をいただき、外部専門家(PT)と一緒に訪問しました。お子さんや保護者にも参加していただき、実際に教室やトイレ、別棟の教室への移動の様子を見させていただく中で配慮点や改善点についてアドバイスをお伝えしました。

【中学校の場合】

- ・担任の先生から起立訓練とコルセットの装着方法についての相談があり、外部専門家(PT)が担任の先生と一緒に起立台に立つ際の2名での介助方法を具体的に手順を追って確認し、その効果についてもお伝えしました。立位をとることで①心肺機能・循環機能の維持・改善②骨萎縮の予防③排尿・排便の促進などが挙げられ、また、背骨の側弯進行予防も期待されることもお伝えしました。

③専門家活用

各学校からの依頼の内容に応じて、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)の派遣を行いました。専門家の活用をしたことで、指導方法の改善、専門性の向上等につなげることができました。

◎専門家活用を希望される場合には、電話やメールなどでご連絡ください。相談させていただいた内容をもとに対応させていただいております。

山梨県立あけぼの支援学校



〒407 - 0046

韮崎市旭町上條南割 3 2 5 1 - 1

TEL : 0551 - 22 - 6131

E-mail : shien@akebonoy.kai.ed.jp

URL : <http://www.akebonoy.kai.ed.jp>

(地域支援担当)

あけぼのブログ

